

第1回

高校生による 岡山の歴史・文化研究フォーラム



日時 2014年12月21日(日) 9:30~16:00

場所 さん太ホール(山陽新聞社)

■主催:  岡山北西ロータリークラブ (国際ロータリー第2690地区 第9グループ)

■後援: 岡山県 岡山県教育委員会 岡山市教育委員会

山陽新聞社 朝日新聞岡山総局 毎日新聞岡山支局 NHK岡山放送局 RSK山陽放送
RNC西日本放送 KSB瀬戸内海放送 OHK岡山放送 TSCテレビせとうち (順不同)

審査員 (敬称略)

白井 洋輔	岡山県文化振興審議会 会長 文学博士
岡部 知史	テレビせとうち 総務局 局長
江見 肇	山陽新聞社 編集局 局次長
川島 ゆか	瀬戸内市教育委員
岡本 和夫	岡山北西ロータリークラブ 副会長



開催にあたって

岡山北西ロータリークラブ

会長 小松 忠 男

この度「第一回 高校生による岡山の歴史・文化研究フォーラム」を開催できますことは誠に意義深く、ご参加いただきました各高校ならびに先生方には心より感謝を申し上げます。このフォーラムは青少年奉仕活動の一環として、歴史から学ぶ視点を育てようという目的で企画されました。郷土を知り、郷土に愛着をもつことは今の日本人にとって必要なことであります。

ロータリーは1905年、アメリカのシカゴで弁護士のポール・ハリスが友人3名と、「一つの職業につき一人の会員」を原則としてクラブを創立したことに始まります。(1)奉仕の機会として知り合いを広め、(2)自己の職業の道徳的水準を高め、(3)個人の生活全般に奉仕の理想を適用し、(4)国際的な理解と親善と平和を推進すること、を目標とする団体です。現在では、200以上の国と地域に34,500くらいのクラブがあり、約118万5千人の会員がいます。

私どものクラブは平成3年に創立され、週に一度会合を開いて親睦の輪を広げ、奉仕活動を行なっています。現在までに、公園にベンチの設置と記念植樹、運動公園の音響設備、病院や福祉施設に車椅子や電動ベッドの寄贈、また電気自動車用充電器、電動アシスト自転車、旧山陽道の案内板の設置や市内の清掃などを行なってきました。さらに3年前より青少年の育成に力を注ぎ、教育講演や福島県と岡山県との少年サッカーチームの大会を行ないました。

本日は高校生の視点で研究した岡山の歴史文化を発表していただきます。皆さんにとって意義深く思い出に残る一日でありますことを願い、また今後、存分に才能を発揮され、世界に羽ばたく人材に成長されますことを期待しております。

最後に、岡山県・岡山市教育委員会、各メディアの方々の後援をいただき、誠にありがとうございました。

○ スケジュールのご案内 ○

開 会

開会の挨拶 岡山北西ロータリークラブ会長 小松 忠男

ロータリークラブについて ロータリー財団委員長 高橋 峯男

◆基調講演

「これから重要な役割を果たす岡山文化」

岡山県文化振興審議会会長 文学博士 臼井 洋輔 氏

準備休憩 ～5分～

◆歴史研究発表◆

岡山県の産業の歴史「岡山の果樹・ぶどう」 金光学園高等学校 ぶどうゼミ

岡山の鉄道の歴史 岡山中学校・高等学校 地歴同好会

昼食休憩 ～40分～ ※20階レストランには、会員のご案内致します。

倉敷美観地区を取りまく歴史と文化 岡山県立倉敷南高等学校 歴史研究部

山田方谷に学ぶ 岡山理科大学附属高等学校 インターアクトクラブ

西大寺の発展と高瀬舟 岡山学芸館 清秀中学校・高等部

岡山県の産業の歴史「児島ジーンズ」 金光学園高等学校 金光学園ジーンズゼミ

プレートがつなぐ思い ～昭和9年岡山大洪水の痕跡の調査・保存活動～

就実高等学校 歴史研究部

休 憩 ～20分～

審査発表&表彰 歴史フォーラム実行委員長 鴨井 利典

講 評 審査員全員

閉会挨拶 岡山北西ロータリークラブ直前会長 横山 俊彦

★参加高校生・指導者・RC 会員全員による写真撮影★

参加高校生相互とロータリー会員の懇親会（20階レストラン） 全 員

○基調講演

演題

『これから重要な役割を果たす岡山文化』

人類は劇的環境の変化のたびに、飛躍的進化を遂げてきた。

日本人は激動の時代に何をしてきたか。日本の歴史を概観してみると国家も国民も、その行動の特異性が良く分かる。

ところが殆どの人が気付いていないが、岡山の先人はその時、飛躍と美しいほどの真価を、比肩すべきものが無い程、ユニークな方法を手に入れて、危機を切り抜けているばかりか、これから先の日本の危機を乗り切る切り札を持っているのである。

何故そのような手法を遺伝子の中に取り込むことができたのか、歴史と文化から見てみよう。

講師紹介

臼井 洋輔（うすい ようすけ）

1942年岡山県玉野市生。岡山大学法文学部卒業、岡山大学大学院博士課程修了（文学博士）高等学校教諭、岡山県立博物館学芸員、岡山県教育庁文化課課長代理、岡山県立博物館副館長、吉備国際大学教授を経て、現在、岡山県文化振興審議会会長。

◆単行本著書

『岡山の文化財』『岡山の宝箱』『時代の変転が工芸に及ぼす影響についての研究』

『バタン漂流記』『正阿弥勝義の世界』『逸見東洋の世界』『備前刀』

『ランドマーク松山城の歴史から何を学ぶか』『吹屋ベンガラからのメッセージ』

『謎を秘めた古代ビーズ再現』『文化探検岡山の甲冑』等。

◆共著本

『文化誌日本・岡山県』『角川日本地名大辞典』『人作り風土記・岡山県』『よみがえる中世』『岡山県大百科事典』『岡山県歴史人物事典』『図説岡山県の歴史』『週刊日本の国宝』『日本のやきもの2』『日本陶磁大辞典』『吉備の歴史と文化』『備前焼の深層に秘められたDNA』等。

◆論文 100 編以上。